

セントラルスポーツ株式会社
2022年3月期 第2四半期
決算説明資料



目 次		
2022年3月期 第2四半期	決算報告	P 1－P 5
	会員動向	P 6－P 7
	出退店状況	P 8－P 9
	セントラルスポーツ ネットワーク	P 1 0
	上期の主な取り組み	P 1 1－P 1 3
	2022年3月期 下期の取り組み	P 1 4－P 1 5
	出退店計画	P 1 6
	所属アスリート 活動報告	P 1 7－P 1 8
	2022年3月期 通期業績見通し	P 1 9

2022年3月期 第2四半期 決算報告

今期決算のポイント

- 一部の大型クラブの休業（4/29～5/31）及び時短営業等の影響による売上減少があったものの

売上高 前年同期比：127.6%

営業利益・経常利益においても黒字を確保

■会員動向

フィットネス会員は減少傾向から後半にかけて回復傾向

スクール会員は順調に回復

・フィットネス部門売上高 前年同期比：116.6%

・スクール部門売上高 前年同期比：168.6%

● 連 結

(単位：百万円)

	2021年3月期 2Q	2022年3月期 2Q	前年同期比
売 上 高	15,198	19,403	127.6%
営 業 利 益	△287	867	-
経 常 利 益	△418	1,312	-
当 期 純 利 益	△3,276	723	-

● 個 別

	2021年3月期 2Q	2022年3月期 2Q	前年同期比
売 上 高	13,611	17,318	127.2%
営 業 利 益	△145	715	-
経 常 利 益	△281	1,080	-
当 期 純 利 益	△2,898	563	-

● 連結

(単位：百万円)

	2021年3月期 2Q	2022年3月期 2Q
総 資 産	45,942	44,349
自 己 資 本	21,235	22,816
自己資本比率	46.2%	51.4%
有利子負債	14,323	12,452
有利子負債依存度	31.2%	28.1%

● 個別

	2021年3月期 2Q	2022年3月期 2Q
総 資 産	43,942	42,048
自 己 資 本	19,554	20,814
自己資本比率	44.5%	49.5%
有利子負債	15,194	13,357
有利子負債依存度	34.6%	31.8%

● 部門別売上高（連 結）

（単位：百万円）

	2021年3月期 2Q	2022年3月期 2Q	前年同期比
フ ィ ッ ト ネ ス 部 門	7,720	9,004	116.6%
ス ク ー ル 部 門	4,130	6,964	168.6%
業 務 受 託 部 門	2,458	2,647	107.7%
その他（旅行業・販売など）	888	787	88.7%
合 計	15,198	19,403	127.7%

● 連結キャッシュフローの状況

(単位：百万円)

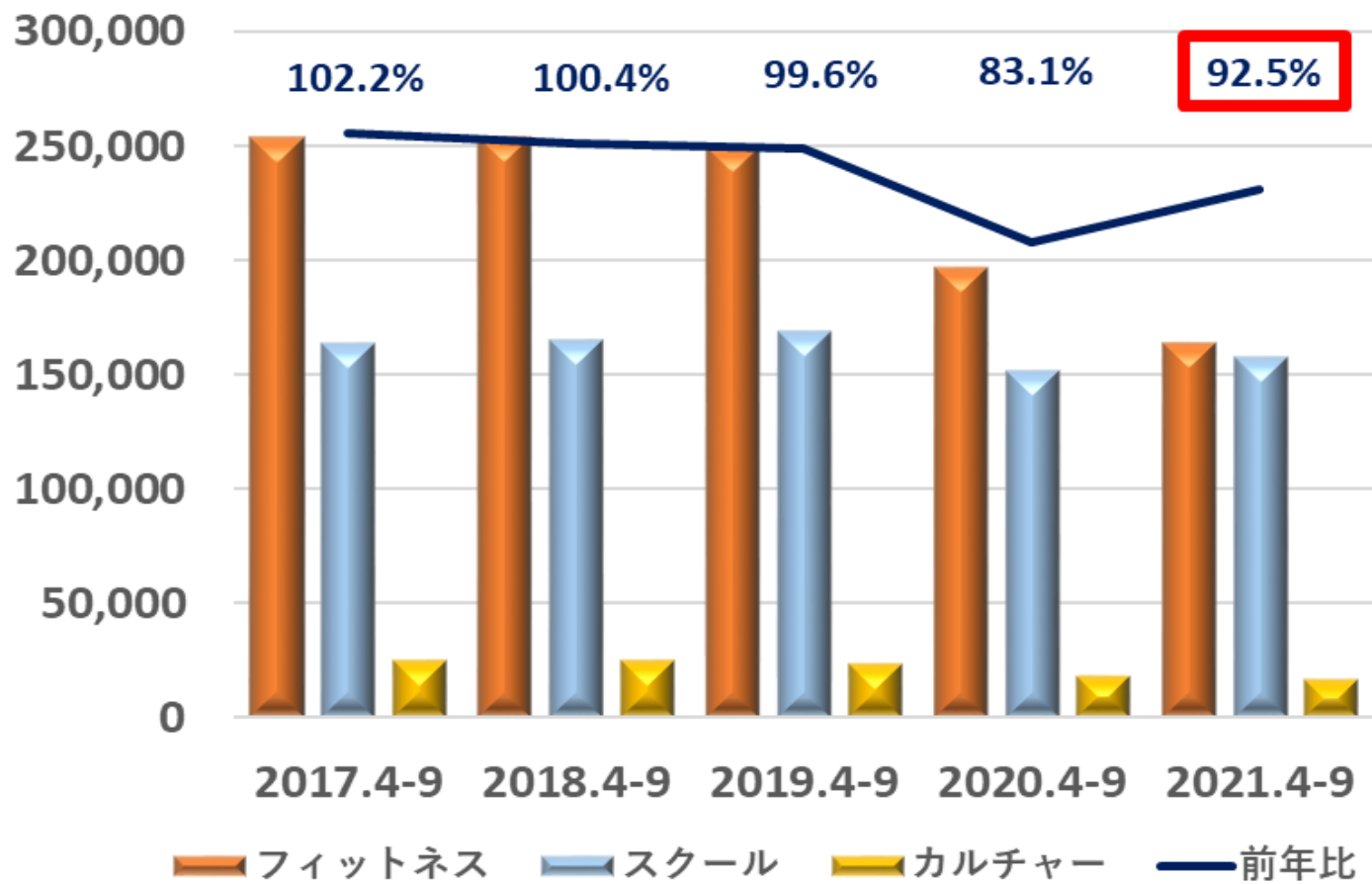
	2021年3月期 2Q	2022年3月期 2Q	主な内訳	
営業CF	△2,015	3,810	税金等調整前当期純利益	1,189
			減価償却費	807
			法人税等の支払	△236
投資CF	△502	△160	有形固定資産の取得	△92
			敷金・保証金の回収による収入	34
			敷金・保証金の差入による支出	△23
財務CF	4,386	△1,193	長期借入金の返済による支出	△915
			配当金の支払	△56
			リース債務等の返済による支出	△221

● 設備投資 等

	2021年3月期2Q	2022年3月期2Q
減価償却費	923	807
設備投資額	654	517
借入金額	8,500	6,924

2022年3月期 第2四半期 会員動向

部門別会員数の推移



2021年9月末時点 総会員数 約344,000名

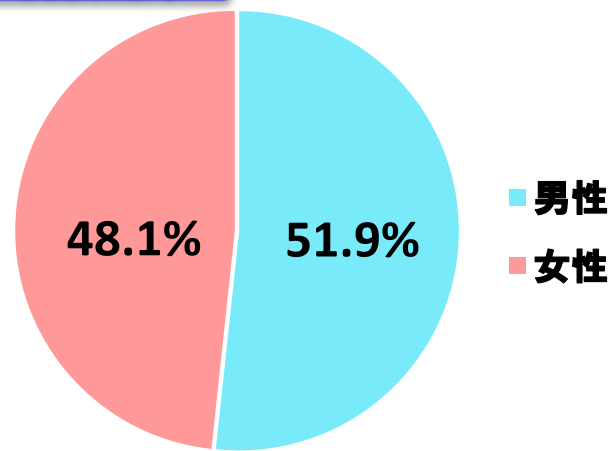
2022年3月期 第2四半期 会員動向②

年代別会員構成（フィットネス）

(%)

	10～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
2017年4-9月度	13.3	12.3	17.3	18.9	19.9	18.2
2018年4-9月度	12.7	11.8	16.9	19.2	19.5	19.8
2019年4-9月度	12.1	11.3	16.3	19.5	19.2	21.6
2020年4-9月度	10.6	10.0	15.2	19.5	19.5	25.2
2021年4-9月度	9.7	9.1	14.3	19.7	20.0	27.2

男女比率



平均年齢

	2017年 4-9月度	2018年 4-9月度	2019年 4-9月度	2020年 4-9月度	2021年 4-9月度
男性	50.6歳	51.2歳	51.7歳	52.8歳	53.8歳
女性	53.7歳	54.4歳	55.3歳	57.6歳	59.0歳
男女平均	52.2歳	52.8歳	53.6歳	55.1歳	56.3歳

2022年3月期 第2四半期 出退店状況

● 出店：2店（直営 1店 受託 1店）

業態	店 舗 名	所 在 地	時 期
直営	セントラルスポーツ ジム24新河岸	埼玉県川越市	2021年 5月16日
受託	兵庫県立文化体育館 神戸常盤アリーナ	兵庫県神戸市	2021年 4月 1日

● 退店：2店（直営 2店）

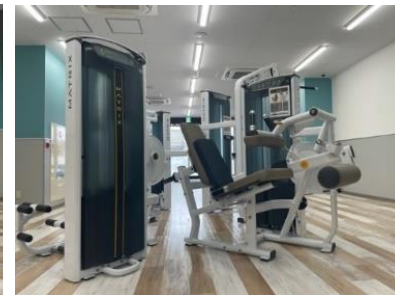
業態	店 舗 名	所 在 地	時 期
直営	東青梅セントラルスポーツクラブ	東京都青梅市	2021年 6月30日
直営	セントラルフィットネスクラブ東岡崎	愛知県岡崎市	2021年 7月31日

24時間営業小型ジム 1店の直営店舗を出店！

セントラルスポーツジム24新河岸 【ジム単体型】



マシンジム・カードィオマシン・フィットネスロッカー



県立施設1店受託開始！

兵庫県立文化体育館 神戸常盤アリーナ



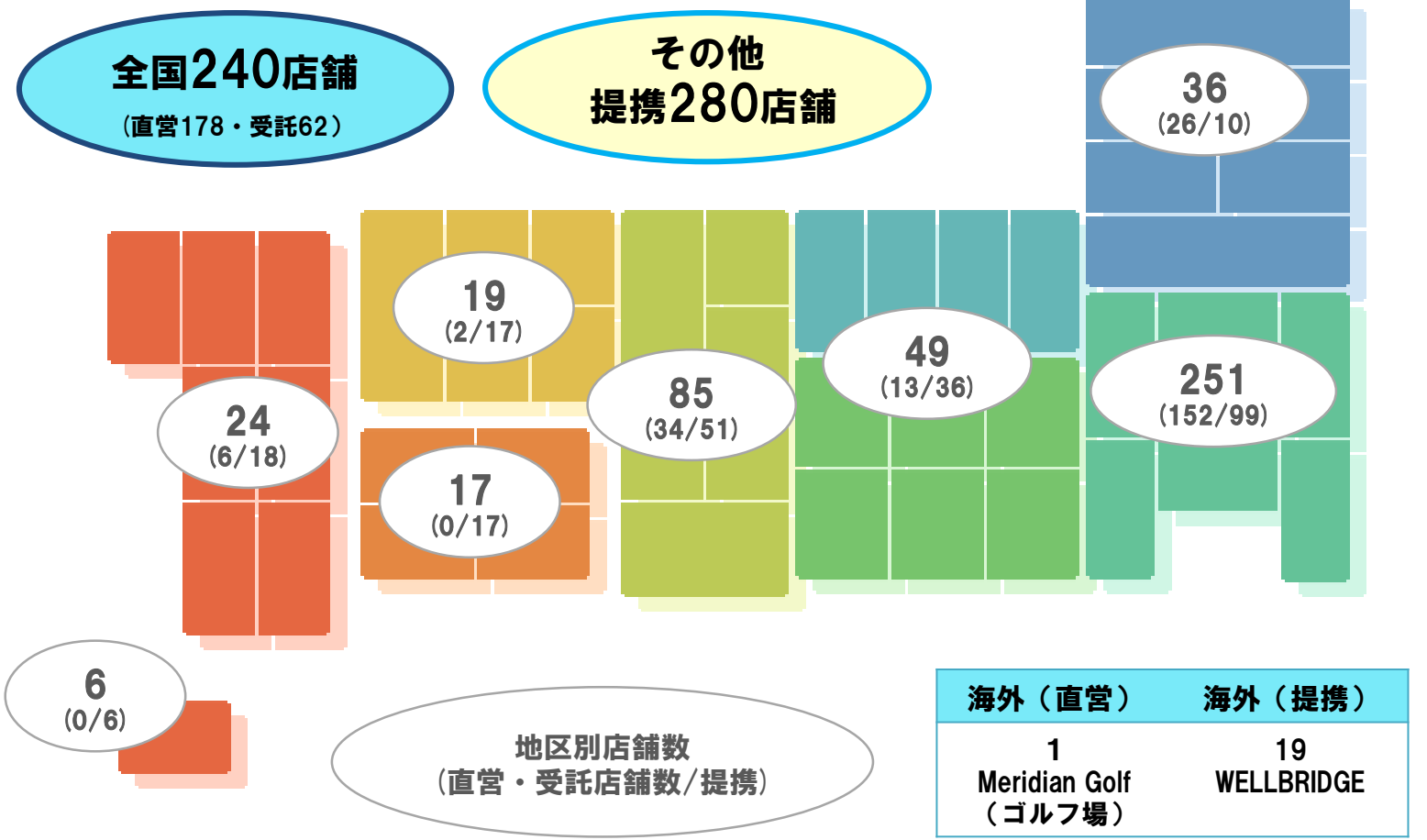
セントラルスポーツ ネットワーク

セントラルスポーツ
ネットワーク

520店舗

直営 178店
受託 62店
提携 280店

当社施設利用対象者数 約1,150万人



2022年3月期 上期の主な取り組み

上期の主な取り組み①（新型コロナウイルス対応）

政府の対策と店舗運営状況

⚠ 2021年4月 5日～6月13日 まん延防止等重点措置
4月25日～5月31日 3回目の緊急事態宣言 発出

緊急事態宣言により一部店舗で約1カ月の休業、その他は営業時間短縮
休業は50店舗、短縮営業37店舗
まん延防止等重点措置により対象店舗で営業時間短縮 69店舗
※その他地域は閉店時間繰り上げ等の対応（最長で22時半までの営業）



⚠ 2021年6月～9月30日
一定のエリアで持続的に緊急事態宣言・まん延防止等重点措置 発出

各都道府県・市区町村の指示に従い営業時間を短縮
（おおよそ20時までの営業）
※その他地域は閉店時間繰り上げ等の対応（最長で22時半までの営業）



⚠ 2021年9月30日 全ての宣言・措置 解除

引き続き、店舗内の感染症安全予防対策を徹底

上期の主な取り組み②（スポーツクラブ事業領域）

オンライン会員 CS Live@HOME



オンラインサービス拡充

オンライン
パーソナルトレーニング



CS Live Fes
全国オンライン&
リアルイベント



キッズアプリ スタート



アプリによる利便性向上
食育をはじめ多数イベン
トの実施
運動能力開発スクールを
スタート

食育オンラインクッキング With アスリート



運動能力開発スクール

新スクール開講!! /
発達・发育サポートプログラム
運動能力開発スクール



上期の主な取り組み③（外部との連携）

宇宙飛行士の健康管理運用業務に参加 JAMSSとの連携

有人宇宙システム(株)（JAMSS）がとりまとめる国際宇宙ステーションに滞在する日本人宇宙飛行士の健康管理運用業務に参加

◇運動・生理的対策業務◇

体力検査項目の中で重要な項目となる「最大酸素摂取量測定」を、呼気ガス分析装置を用いて実施



横浜市と連携 地域包括的 心臓リハビリテーション実施体制構築へ



市内でどこでも受けられる包括的な
心臓リハビリテーションの実施体制を構築

非常用浄水器の設置

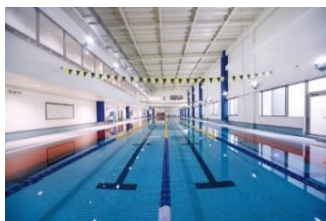
6 安全な水とトイレ
を世界中に



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



12 つくる責任
つかう責任



緊急時にプール水を飲料
水として活用できる非常
用浄水器を設置

自然災害時などに地域へ
寄与できる環境を整備

各医療機関から運動処方箋を発行され
た心臓リハビリテーション対象患
者に対する運動サービスの提供

希望者に運動処方箋の内容に基づき
個人の運動レベルとニーズに沿った
運動プログラムの作成と指導を実施

2022年3月期 下期の取り組み

下期の取り組みのポイント

オンラインサービスの 拡充



- コロナ禍における新たな顧客体験価値の創出
- 潜在顧客・未出店地域とのつながりを創出

医療との連携強化



- 運動とメディカル分野を融合を図り、健康スポーツ医科学に基づいた新たな事業価値を創造

教育事業の拡充



- 学校教育との連携を図り、健全な情操教育に貢献
- 通信教育事業で、より多くの子供たちに教育を！

アスリート・ マネジメント事業



- アスリートと共に、新たな価値を創造
- アスリートが活躍する領域の拡充

感染予防対策の 徹底強化



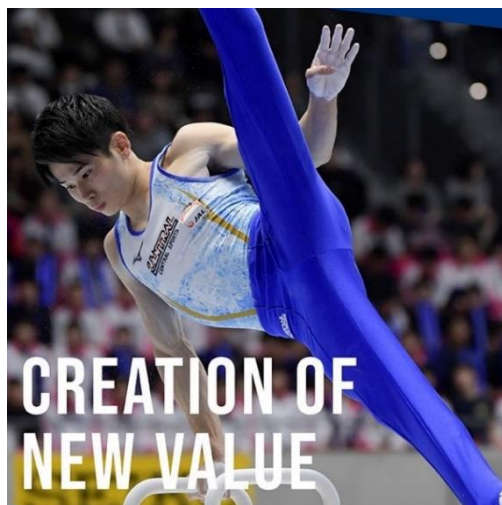
- 安心・安全・快適なスポーツクラブライフの提供
- 従業員の安全確保

アスリート・マネジメント事業

『セントラルスポーツ・アスリートサポートチーム』発足

セントラルスポーツは、創業時に掲げた「世界に通用するアスリートを育成する」という目標の下、オリンピック金メダリストを含む多くのトップアスリートを輩出してきました。世界の舞台を目指すアスリートの育成・強化はもちろん、アスリート活動をサポートするマネジメント事業や、アスリートの価値を創造するマーケティング事業に積極的に取り組み、アスリートが活躍する領域の拡充と、新たな価値の創造を目指します。

- ◆アスリート強化／世界に通用するアスリートを育成
- ◆マネジメント／アスリートをサポート
- ◆マーケティング／アスリートの価値を創造



● 出店：2店（直営 2店）

業態	店 舗 名	所 在 地	時 期
直営	セントラルスポーツ ジム24八幡山	東京都杉並区	2021年10月 1日
直営	セントラルスポーツ ジム24入谷	東京都台東区	2021年10月16日

● 退店：1店（受託 1店）

業態	店 舗 名	所 在 地	時 期
受託	パレスセントラルフィットネスクラブ	埼玉県さいたま市	2021年12月31日

所属アスリート活動報告

GO! CENTRAL
SPORTS
ATHLETES

世界へはばたけ!
セントラルスポーツ
アスリート



所属アスリート活動報告①

東京2020オリンピック・パラリンピック

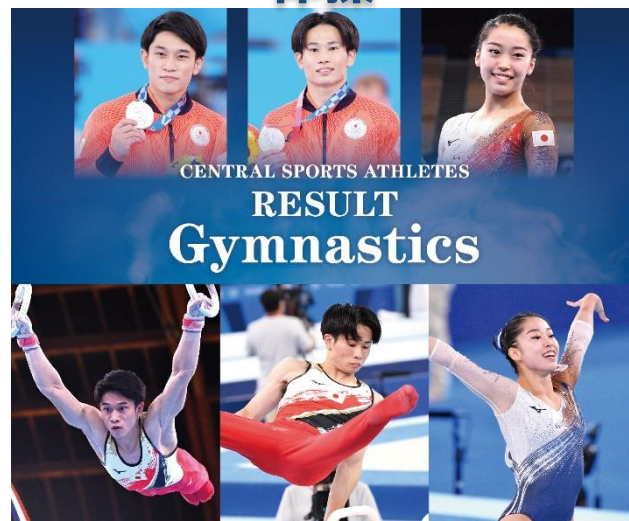
競泳



CENTRAL SPORTS ATHLETES
RESULT
Swimming

寺村 美穂	松元 克央	小堀 倭加
女子200m個人メドレー 準決勝進出	男子200m自由形 出場	女子400m自由形 出場
	男子4×200mフリーリレー 出場	女子800m自由形 出場
	混合4×100mメドレーリレー 出場	

体操



CENTRAL SPORTS ATHLETES
RESULT
Gymnastics

谷川 航	萱 和磨	畠田 瞳
男子団体 銀メダル		
男子種目別あん馬 萱 和磨 銅メダル		
女子団体 第5位		

パラ水泳



CENTRAL SPORTS ATHLETES
RESULT
Para Swimming

OGIWARA KOTAROU
荻原 虎太郎

男子100m自由形S8	出場
男子200m個人メドレー-SM8	出場 日本新記録 (2分31秒72)
男子100mバタフライS8	出場
男子4×100mメドレーリレー-34ポイント	第8位 日本新記録 (4分29秒85)

東京2020オリンピック・パラリンピックに競泳3名・体操3名・パラ水泳1名 計7名の選手が出場
 体操男子団体で萱和磨選手・谷川航選手が銀メダル、種目別あん馬において萱和磨選手が銅メダルを獲得
 当社では今大会含め10大会連続、延べ34名のオリンピック・パラリンピアンを輩出しております
 これからも競泳・体操に加え、飛込やフィギュアスケートなど多岐の種目にわたり選手を育成してまいります

所属アスリート活動報告②

体操

結果報告!!

第50回世界体操競技選手権

福岡県北九州市立総合体育館

2021年10月18日から24日にかけて北九州市にて開催された「第50回世界体操競技選手権」において当社所属選手が下記の通り素晴らしい成績を取めましたのでご報告いたします!



写真: YUTAKA/アフロスポーツ

銀

萱 和磨

選手

男子種目別	あん馬	第2位
	平行棒	第6位
	ゆか	第6位

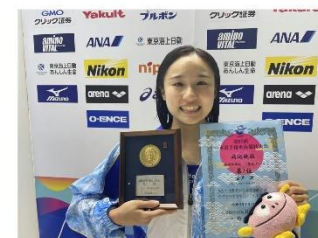
2年ぶりに開催された世界体操競技選手権において萱和磨選手が種目別あん馬で銀メダルを獲得!

飛込

結果報告!!

日本選手権水泳競技大会 ～飛込競技～

2021年9月17日から19日にかけて栃木県宇都宮市にて開催されました「第97回日本選手権水泳競技大会 飛込競技」におきまして、当社所属選手が下記の通り素晴らしい成績を取めましたのでご報告いたします!



かねと りん

金戸 凜

女子3m飛板飛込 **優勝**
女子10m高飛込 **第3位**

決勝進出種目結果

かねと	しゅんた	男子3m飛板飛込	第5位
金子	舜太	男子10m高飛込	第5位
かねと	かい	男子3m飛板飛込	第7位
金戸	快	男子10m高飛込	第6位

金戸 凜選手が右肩の手術を乗り越え、日本選手権女子3m飛板飛込で優勝!

● 連結

(単位：百万円)

	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想	前年比
売上高	36,027	42,000	116.5%
営業利益	878	2,000	227.7%
経常利益	752	1,500	199.4%
当期純利益	△2,363	880	—

● 個別

	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想	前年比
売上高	32,398	38,000	117.2%
営業利益	946	1,800	190.2%
経常利益	767	1,300	169.4%
当期純利益	△2,125	750	—

※2022年3月期の通期業績予想につきましては、本四半期決算発表現在において当社が入手している情報に基づいて算出されたものであります。実際の業績は、新型コロナウイルス感染症をはじめとした様々な要因により、予想数字と異なる可能性があります。

**セントラルスポーツは
「0歳から一生涯の健康づくりに貢献する」
という経営理念のもと
誰もが笑顔で健康に暮らす
ウェルネス社会の実現に取り組んでまいります。**

